

TIJ 日本語教育研究会通信

No.40 2009.9.16 発行

発行 : TIJ 日本語教育研究会事務局
東京都葛飾区新小岩 1 - 17 - 10
Tel:03(5607)4100 / Fax:03(5607)4102
E-mail tij@tij.ne.jp
TIJ ホームページ <http://www.tij.ne.jp>



短かった夏も終わり、だいぶ涼しくなりました。夏の疲れが出てくるころですし、また新型インフルエンザも猛威をふるいつつありますが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。

前号でお伝えしましたとおり、6月から一か月に一度、「上級で学ぶ日本語」の文型の勉強会を開いてきました。「上級で学ぶ日本語」の文型というのは、日本語能力試験1級レベルの文法、文型です。本号にその報告が掲載されていますので、参考になさってください。勉強会は今後も当分続けていきますので、皆様もどうぞご参加ください。今後の開催日時は巻末の事務局からのお知らせにあります。

タイの大学で約5年間日本語を教えていらっしゃるご経験を、本号に寄稿していただきました。文化の違いへの対応など興味深い内容となっています。また、獨協大学の教育実習生のレポートも掲載いたしました。大学生の新鮮な気づきに、逆に私たちが気づかされ、自分たちがやっていることを客観的に考えるいい機会になっています。

本号の内容

1. 「上級で学ぶ日本語」の文型勉強会の報告
2. タイの日本語教育事情
3. 教育実習を終えての感想
4. 事務局からのお知らせ

「上級で学ぶ日本語」の文型勉強会の報告

上級で学ぶ日本語 第1課 使いましょう

【A】～て初めて

本当はもう少し早く気づくべきことだったのだが、このことがあって遅まきながら気づいた。人生の節目を体験し、痛感したことをポジティブに述べる。

例1：一人暮らしをして初めて家事の大変さがわかりました。

家事に時間がかかることがわかりました。

例2：自分に子供が生まれて初めて親のありがたさがわかりました。

(子どもをもって初めて)親の子供に対する愛情の深さに気付きました。

例3：病気になって初めて健康の大切さを痛感しました。

例4： ～ てはじめて自立したと言えます。

1. A：お子さん(ご主人、ワンちゃん)がいないと寂しいでしょうね。

B：ええ、あの子がいなくなって初めて子どもの存在の大きさがわかりました。

2. 友達に言われて初めて自分の配慮のなさに気づきました。

3. 親から経済的に自立して初めて社会人だと言えます。

4. 自分でやってみて初めてみんなの意見をまとめることが大変だと感じました。

3. 「～と言えます」「～と言えます」は反論として使われるのではないか？

4. に関して「感じる」という言葉とのすわりが悪い。学生に提示しなくてもよいのかもかもしれない。

学生が受け入れ易いであろう語彙は：

親の有難さ 愛情の深さ 人の温かさ/優しさ 仕事/家事の大変さ

健康/時間の大切さ 責任の重さ

使う動詞は、(に)気付く(が)わかる

恋をして初めて、人の優しさがわかった。 その節目は一般的なこと

【B】～はともかくとして

良いか悪いのか、いまは評価したりせずに、それよりもまずは言いたいことがある場合。

ただ、自分のことについて言うときは別として、相手に言う場合は立場が上の者が下の者に対して使うことが許されるなど、学習者に注意を促す必要がある。

例1：見かけはともかくとして味は悪くないと思うのでちょっと食べてみてください。

美味しいから食べて、と言いたいのが分析的な教養が邪魔をして素直に言えない。みかけだけ見ると美味しそうに見えないから積極的に薦める根拠に自信がない。

例2：この作文、内容はともかく字が汚いので、読む気になれませんよ。

まだ読んでいない。読む前にひとこと言いたい。

例3：終わったことはともかくとして、これからのことについては真剣に考えなければならない。

優先をはっきりさせる。もちろん“終わったこと”に関しても考える必要はある。

1. A：いいデザインでしょ？

B：ええ、しかし、デザインはともかくとして値段が高すぎますよ。

2. 予習はともかく、最低限、復習（宿題）だけはやってください。

もちろん、予習をしてくればそれはいいのだが、それよりもなによりも復習（宿題）が大事なので、優先順位をつけてまずそれを述べる。

4. できるかどうかはともかくとして、試験に向けて何をどう勉強をすべきか、まず、考えましょう。

問題にしないですむケースや立場もあるにはあるが、実際はそうではないのだからヘンだ、おかしい、と言いたい場合。

例1：学生ならともかく社会人になってからもまだ親からお金をもらっているなんておかしいと思いませんか。学生という立場なら許されるが、社会人ではダメ。

例2：平日ならともかく週末は混んでいて大変でしょう。（人気のあるレストランの予約）平日まで混んでいることはないだろう。

3. 子どもならともかく、あれぐらいのことで泣くなんておかしいよ。

子供ならする、ということの、学生とのコンセンサスが必要。

泣く、へそを曲げる、ダダをこねる “なんて” の指すもの

また、子供ならしても許されるが、大人がしたらおかしいことはなんだろう、と考えさせる。

例として、子供ならともかく、大人が漫画に夢中になるなんておかしい。

大学生が首相の名前を知らないなんておかしい。

一般的な立場が難しいものとして：

アフリカならともかく、日本で餓死する人がいるなんて。

譜面が読めるならともかく、全盲の人が優勝するなんて。

女ならともかく、男子が泣くなんて。

軽い口語で使う場合は“として”不要。論ずる場合“ともかくとして”を使うと、

例3：40歳の甥にお見合い話を持って来た叔母の言：

そろそろ考えてもいいんじゃないの。写真があるからまず見てみてよ。

（甥が面食いだとわかっているの）顔はともかくとして性格の良い人なの。

まっさきに言いたいことは“性格の良さ”

【C】 あくまでも

誰がなんと言おうと立場は変わらない、ポリシーの主張。まず闘争ありき。

例1：構造改革はあくまでもやりぬくつもりです

例2：郵政民営化にはあくまでも反対です。

例3：環境破壊につながる開発にはあくまでも抵抗するつもりです。

例4：核開発にはあくまでも反対です。(核兵器の使用)

1. A：僕はどんなことがあってもあきらめませんよ。

B：君があくまでも離党して新党を作ると言うなら、私はもう反対しません。

2. 誰がなんと言おうと、私はあくまでも彼女と結婚するつもりです。

3. 日本の核武装にはあくまでも反対です。

当然あるべき姿を主張する。

例1：裁判官はあくまでも冷静であるべきだ。

例2：教師はどの学生に対してもあくまでも公平に接するべきだ。

4. 憲法9条の平和主義はあくまでも守るべきだと思います。

裁判官は(感情に流されず)あくまでも冷静に判断するべきだと思います。

【D】 ~にすぎない

誤解されないために、それ以上でないことをはっきりさせておく必要がある。

例1：彼は友達の一に過ぎない。嫉妬した彼氏が自分をとがめたとき

例2：彼とは仕事上の付き合いに過ぎない。彼が痴情事件を起し、自分は警察から聴取を受けたので、彼のプライベートな面を知らないことを力説、無関係を主張する。

4. アルバイトに過ぎない私に店長の代理を務めるのは無理ですよ。

単にそれ以上ではない、存在を小さく見せて世間やその場をしのぐ。

例1：偉大なる建国の父といっても、毛沢東も一人の男に過ぎませんでした。

“男”という言葉の持つステレオタイプを受け入れる。

一人の 一介の 一市民 一社員 一個人 無力だと思われるもの

一人の男 = 男として抗えない事由があって不可抗力の行動をとった。

2. 一国の首相といっても、一人の人間に過ぎません。

本当にできるかどうかわからないので、言ってみるが、まずは責任を回避しておく。

例1：30歳までに結婚して、35歳までに子供を持って、40歳でうちを建てる、いまの段階ではあくまで計画に過ぎませんけどね。

3. (北朝鮮の)長距離ミサイルを迎撃するというのはあくまで計画に過ぎません。

謙遜する

例1：私は人として当たり前のことをしたに過ぎず、決して特別なことをしたわけではありません。誰かを助けるなどの行為に対して、称賛の言葉を受けた人が述べる。

1. A：料理がお上手だそうですね。

B：いやあ、料理ができるといっても、自己流に過ぎないんです。

“お上手”という言葉が持つ意味を把握しておく。お世辞。

自己流、家庭料理、など謙遜するニュアンスが必要。

“ゆで卵”など簡単なものの名称を言うのは×

報告：市川さゆり 記録：松下美智子

上級で学ぶ日本語 第2課 使いましょう

【A】～のことだから

その人の性格や能力、素質から考えて、ある状況下でどうなるか自信を持って予測する。過去に起こったことではなく、予測であることに注意

例1：(母国にいる親や友人が、日本に留学したX、Y、Zさんのことを気にしての会話
後半はできるだけ学生に作らせる)

A：Xは今ごろどうしているかな。

B：しっかりしているXのことだから、日本でもしっかりやっていると思うよ。
さびしがりやのYのことだから、毎日泣いているんじゃない？
がんばりやのZのことだから、きっといい大学に合格するだろうよ。

例2：(昨日A先生とけんかしてしまった。A先生は許してくれるか心配している。)

A：A先生は許してくれるかな。

B：やさしいA先生のことだから、きっと許してくれると思います。

例3：(遅刻常習犯のDが今日もいないが、どうしたのか心配している)

A：Dさんがいませんね。どうしたんでしょう。病気でしょうか。

B：遅刻常習犯のDのことだから、きっときょうも遅刻だと思いますよ。

例4：(友達Eさんが奨学金に応募したが、もらえるかどうか心配だ)

A：Eさん、奨学金もらえるでしょうか。

B：優秀なEさんのことだから、きっともらえると思いますよ。

1. (マラソン大会で、まだ山田がゴール地点に来ない)

A：山田君はどうしたのかな。

B: 大丈夫。体の丈夫な山田君のことだから、きっと元気でゴールすると思うよ。
きっと大丈夫だ

(みんなで待ち合わせをしているが、山田が来ない。最近残業が続いているというので、心配だ)

A: 山田君はどうしたのかな。

B: 大丈夫。体の丈夫な山田君のことだから、きっと元気で現れると思うよ。

「体の丈夫な」という条件をうまく使える状況を考える必要がある。

2. (学校で、朝の始業時にまだ山田が来ていない)

A: 山田さんはどうしたのかな。

B: いつも遅刻する山田君のことだから、今日も遅刻じゃない。

元気な

今日も元気に来るんじゃない。

(ここに「ん」を入れるのは難しい。)

朝に弱い山田君のことだから、今日も寝坊じゃない。

3. (数学の問題が解けない、日本語の問題ができない)

A: この問題難しいね。

B: 高橋先生に聞けば、何でもできる高橋先生のことだから、この問題もきっと解けるよ。

何でも知っている

やさしい

教えてくれる

親切な

教えてくれる

4. (京子さんが作った料理を食べる。初めて食べる料理である)

A: これ、おいしいね。

B: 何でも挑戦する京子さんのことだから、きっと自分で考えて作ったんだよ、たぶん。

熱心に研究する

きっと工夫して

何でも一生懸命やる

きっと心を込めて作ったんだよ。

5. (山田が留学することについて、二人の友人が話している。)

例1 A: 山田君、留学しようと思ってるんだって。(留学することが決まっている場合)

B: 向学心のある山田君のことだから、きっと成功するだろうよ。(留学後のことを想像している)

例2 A: 山田君、留学しようと思ってるんだって。(留学するかどうか迷っている場合)

B: すぐ気が変わる山田君のことだから、きっと行かないと思うよ。

例3 A: 山田君、留学しようと思ってるんだって。(留学するかどうか迷っている場合)

B: 手続き面倒なんだろう。実現しないんじゃない。(だれかが否定的な予測をする)

C: ぼくは、有言実行の山田君のことだから、きっと行くと思うよ。(それに反して肯定的な予測をする)

【B】～次第

何かが完了したら、すぐすると確約する。またすぐするように指示する。客と店員の間など、業務上で使われることが多い。自然になることではなく、「する」こと。「次第」の前の形は「する動詞」の「するをとった形」または、「ます形」の「ます」とった形

例1：(学校で、ある学生が授業料納入日を過ぎても、まだ払っていない)

A(職員): 授業料はいつ払いますか。

B(学生): 給料をもらい次第、払います。

例2：(客がインターネットまたは電話で商品購入手続きをした。代金は銀行に振り込む)

A(客): 品物はいつ届きますか。

B(販売員): 入金を確認次第、発送します。

1.(購入した品物の準備がまだ届かないので、客が怒って店に文句を言う)

A(客): おい、まだか。

B(店員): すみません。ただ今在庫が切れていますので、入荷次第、お宅へお送りします。

(大学で、課題レポートの締め切り日にある学生はまだ書き終わっていない。明日から夏休みである。)

A(教師): おい、(レポートは)まだか。

B(学生): すみません。書き終わり次第、お宅へお送りします。

研究室にお持ちします。

(レストランで、注文したものがなかなか来ないので、客が怒っている)

A(客): おい、まだか。

B(店員): すみません。出来上がり次第、お持ちします。

「おい、まだか。」という言葉がどんな状況で話されるかが問題である。

後件を「お持ちします」などに変えれば、出前、配達などの状況も可。

2.(バスマターの途中で、客たちが今土産物屋で買い物をしている)

A(客): もう少しいいですか。

B(ツアーガイド): あまり時間がございませんので、

お買い物が終わり次第、バスにお乗りください。

トイレが終わり次第、すぐ出発します。

食べ終わり次第 すぐ出発したいと思います。

準備が出来次第、

3.(大学のゼミのクラスで、学生がこれからプレゼンテーションをする。今、準備をしている。)

B(教授): 準備はできましたか。

A(学生): 後五分くらいです。

B (教授): じゃ、準備ができ次第、始めてください。

(演劇) 準備ができ次第、始めてください。

(スポーツの試合) 準備運動が終わり次第、始めてください。

4. (アルバイトで「こっちの仕事手伝ってくれないか。」と言われて)

すみません。こちらの仕事が終わり次第、そちらにまいりますので。

こちらの仕事が片付き次第

(スタッフが入り口でゲストの到着を待っている。監督に「まだですか」と言われて)

すみません。ゲストが到着次第、そちらにまいりますので。

5. はい、それではわかり次第、ご連絡いたします。(会話を打ち切るための言葉)

入荷次第

(店で在庫切れの品物を購入した客との会話のしめの言葉)

「それでは」があるので、即対応するという姿勢を見せて、会話や交渉を終わらせるための言葉。クラスではどんな状況で使われるかを学生といっしょに考える。

【C】~と見られる

研究者、専門家が研究、分析した結果の予測、推測。大方の予想。

例：インドの人口は、21世紀中に中国を抜いて、世界一になると見られている。

21世紀半ばに日本の人口は半減すると見られている。

1. 「見られる」は会話では使われないので、ニュースのレポーターの言葉として練習する。

殺人犯が逃走に使ったと見られる車が発見されたそうです。

殺人に使われたと見られる血の付いた包丁が発見されたそうです。

地球に存在しないと見られる石が発見されたそうです。

石器時代の動物の骨と見られるものが発見されたそうです。

2. (宝石店、美術館、銀行など侵入しにくいところにどろぼうが入った)

A: どろぼう、どうやって中へ入ったんだろうね。

B: ニュースでは「裏口のドアを破って中に入ったと見られる」って言ってたよ。

ベランダに上って

電気工事員に化けて

一般の家庭ではなく、侵入しにくいところと想定して、想像を働かせるとおもしろい。

3. 地球の自然破壊は進む一方で、森林の?%は失われると見られています。

いずれ南極は消滅する

4. 去年から就学生の数が増えているので、今年の(大学入学)試験はかなり厳しいと見られています。(日本語教育関係者の予測)

日本語能力試験は、去年やさしかったので、今年の試験は難しいと見られています。

5. 日本で少子化が進んでいるのは、働きながら子育てをする環境が整備されていないのが(一番)原因だと見られています。
子どもの自殺が増えているのは、 _____

【D】～にしてみれば

一つのこと(勉強、進学、就職、規則、体罰、リストラ、日本語など)に対する立場(親と子、教師と学生、日本人と外国人など)によるとらえかたの違い、判断の違い。話者は後件の立場に立っている。

「～にとっては」「～の立場からは」などと、組み合わせて使われることが多い。「～にしてみれば」を使うと、話者がその立場に立って言っていることを示す。

例：親は子どもにいい大学に入れと簡単に言うけれど、子どもにしてみればたいへんなことである。

学校の規則では _____ と決まっているけれど、学生にしてみれば、それは納得できないことである。(ものである)

1. (スキューバダイビング)(クリスマスパーティーの司会者を募集している)
A : やってみようよ。簡単じゃない。
B : ジョンさんにとっては簡単なことでも、私にしてみれば勇気のいることなのよ。
大変なことなのよ。
2. A : 円がまた動いていますね。
B : 国内産業ならそんなに影響はないでしょうが、輸出関連の会社にしてみれば
大企業 中小企業
たいへんなことでしょうね。
3. 日本人にしてみれば日本語でメールをすることはたやすいことかもしれないけれど、
残業するのは普通のことかもしれないけれど、
外国人にはなかなかたいへんなことである。

外国人側に立って言いたいので、「日本人にとっては日本語でメールをすることはた
やすいことかもしれないけれど、外国人にしてみればなかなかたいへんなことであ
る」のほうがいい。
4. 両親の立場からは子供を収入のいい仕事につかせたいかもしれないが、
将来のためになると思って勉強させるのだが、
子供にしてみれば自分の好きな仕事につくことが一番である。
迷惑なことである。
5. 会社側から言うとリストラはしかたがないことだが、社員にしてみれば納得できない
ことである。

会社側から言うと税金は安いほうがいいが、税務署にしてみれば高いほうがいい。

文末を「ことである」「ものである」で結ぶと落ち着きがよい。「納得できないことである」で結ぶと文が作りやすい。

報告、記録：広瀬万里子

上級で学ぶ日本語 第3課 使いましょう

【A】～ざるをえない

外的要因や状況の切迫のため、「本当はやりたくないが、やむを得ずする」といった不本意な気持ちで自分の立場を表明する。作文の際は、誰が、どのような立場を表明するものかをはっきりさせること。

例1：(教師が自分の経験を述べる。文末は過去形。その当時はその選択をしないわけにはいかなかった というニュアンスになる)

本当はずっと仕事を続けたかったが、主人が海外転勤になったのでやめざるを得なかった。

仕事を続けたかったが、病気のため辞めざるを得なかった。

会社が倒産したので、転職せざるを得なかった。

子どもをもう一人欲しかったが、(経済状況、住宅事情、子育て環境から)出産をあきらめざるを得なかった。

例2：(学生の立場で言う)

留学試験の結果が悪ければ、大学進学を断念せざるを得ない。

どうしても国立大学に行きたかったが、留学試験 300 点以下では、国立大学はあきらめざるを得ない。

(出席率が悪くて)ビザの延長が認められなかったら、帰国せざるを得ない。

例3：(上司、先生から言われて、しかたなくやった。言い訳のニュアンスにもなる)

本当は飲めないのに、上司がしつこくすすめるので、飲まざるを得なかった。

(どうしても早く帰ってこなかったのかと奥さんに責められて)

本当は早く帰りたかったのに、上司が飲みに行こうと誘うので、行かざるを得なかったんだ。

1. A: テスト(留学試験) どうだった。

B: うん。もし結果が悪ければ、大学進学をあきらめざるを得なくなるかもしれ
大学進学をあきらめて帰国せ

ないね。

「そうならないように十分努力したのに、不本意ながらそうするしかない」という前提

が大切。上記のような会話で、軽く済ませる話ではないことを学生に明示すること。

2. (今週末 BBQ パーティーがある / 山登りをする。週末は天気が悪そうだ)
パーティーに絶対行くと約束した以上、たとえ雨が降っても行かざるを得ない
いっしょに山登りをする
でしょう。
3. (日本人の知り合いが家に招いてくれ、料理を作ってくれたが、実は苦手な料理だ)
料理を作ってくれたので、苦手な料理も食べざるを得ませんでした。
4. (健康診断の結果を見ながら、医師が患者に言う場面)
(患者は手術したくないといったが)
この結果を見た限りでは、手術をせざるを得ないと思います。
(患者は手術して治したいといったが)
この結果を見た限りでは、手術はあきらめざるを得ないと思います。
5. (他にもっといい方法が見つからなかったら、これをせざるを得ないという状況を
世界 vs 国、学校 vs 学生 などの関係で提示するとわかりやすい)
国際社会から非難を浴びたら、アメリカはイランから撤退せざるを得なくなる。
学校は勉強が最優先というが、親からの仕送りが止まったら、アルバイトを二つせ
ざるを得なくなるだろう。

「～と言わざるを得ない」は慣用表現でよく使われるが、ここではあえて提出しない。

【B】～てからというもの

「その出来事をきっかけとして」それ以前と以後とで大きな変化が起こり、それがずっと継続していることを表す。 変化は、いい方向、悪い方向どちらでも可。

例 1 : 産地偽装や賞味期限切れの事件が明らかになってからというもの、食の安全に関心を持つ人が増えてきた。

例 2 : (教師の実例等)

父は単身赴任、兄は大学生活で家を出て行ってからというもの、母はちゃんと料理を作る意欲をなくしている。

1. A : 弟さんはお元気ですか。
B : 元気は元気なんですが、帰国してからというもの、ずっと定職につかないでぶらぶら
ぶらしているんですよ。(以前はまじめに仕事していたのに、という気持ち)
帰国してからというもの、毎日ずっと仕事に追われているんです。
(以前に比べて仕事量が激増したから大変という気持ち)
2. 父が九州に転勤してからというもの、家族揃って食事をすることはありません。
3. 転校して環境が変わってからというもの、彼女はとでも明るくなりました。
恋人ができて

4. 裁判員制度が導入されてからというもの、司法に関心を持つ人が増えてきました。
5. 大阪で新型インフルエンザ感染のニュースが報道されてからというもの、旅行のキャンセルが相次いでいる。

【C】～はもとより

前件は当然のこと、でもそれだけでなくもっと。「元より」なので、前件には基本的なこと／もの／人が入り、そこから広がっていくことがわかるような例文を提出すること。

- 例1 : (温室効果ガスの排出量はアメリカ、中国、ロシア、日本が上位4国)
温室効果ガスの排出規制では、アメリカ、中国、ロシア、日本の上位4国はもとより世界全体に努力が求められている。
- 例2 : (日本はアニメ大国だが) サブカルチャーとしてのアニメは日本はもとより、世界中で人気が高まっている。
RPGなどのゲームには子どもはもとより、大人も夢中になっている。

1. あの事故は、現場地域の新聞はもとより、全国紙にまで記事が出ていた。
2. 問題を抱えている地域はもとより、他の地域でもいろいろな対策が進められて
周辺地域
います。
雇用の安定については、中小企業はもとより、大企業にまで広く努力が求められています。
3. これ以上円が高くなると、日本経済はもとより世界経済全体にも大きな影響が出る
輸出入品 物価全体
ることが考えられます。
4. 不況による経費節減のため、派遣社員はもとより、正社員にもリストラが及んで
いる。
裁判員制度導入については、一般市民はもとより専門家からも不安の声が上がった。

【D】～うものなら

外部からのちょっとした刺激で、大惨事になるから気をつけて、と注意を喚起する。
誇張した表現としても使う。

「万一／ちょっと～でも～うものなら～てしまう」の使い方がおさまりがいい。

- 例1 : (脆い家・山、怖い犬の写真を提示して、ここにどんな刺激がきたら、どのような惨状になるか予測してもらおう)
地震で地盤が緩んでいるところに雨でも降ろうものなら、あっという間に土砂災害が起きるだろう／起きてしまう。
東京のような大都市では、ちょっとでも雪が降ろうものなら、すぐ交通が麻痺して

しまう。

あの犬は気が荒いから、ちょっとでも近づこうものなら、かみつかれてしまう。

例 2 : (誇張表現)

(部下を叱りたいが)今の若者はわがままなので、ちょっと注意でもしようものなら
次の日から会社に来なくなる。(だからなかなか注意できない)

母は気が強くて、私が何か文句でも言おうものならその 10 倍になってかえってくる。

- 1 . A : 台風が来るんだって。あそこの家、大丈夫かな。
B : ううん、このままじゃ、ちょっと強い風でも吹こうものなら飛ばされてしまう
倒れてしまう
だろうね。
- 2 . 部長、今とても機嫌が悪いからね。こんなときは誰かが何か言おうものなら、雷が落ちるから、あまり近づかないほうがいいよ。
- 3 . 原子力はちょっとでも扱い方を間違おうものなら、爆発する危険がある。
薬は 毒になってしまう危険がある。
- 4 . 誰かがちょっと非難でもしようものなら、今の彼女はそれだけで泣き出してしまうだろう。
ちょっとでも無理をさせようものなら、彼女は寝込んでしまうだろう。
- 5 . 企業は信用が第一だ。一度でも不祥事を起こそうものなら、企業イメージは失墜してしまう。
安全には万全の備えが必要だ。ちょっと油断でもしようものなら、大事故を招いてしまう。

< 上記文型を使った例文 >

今日、我々は原子力と切っても切れない生活を送っている。特に日本は、1963年に初の原子力発電に成功してからというもの、電力を賄うために原子力発電に依存せざるを得ない状況だ。しかし、万一原子炉の事故でも起ころうものなら、その被害は計り知れない。そこで、これからの人類に必要なことは、エネルギー消費量の削減努力である。国はもとより、我々一人一人に問われている大きな問題である。

報告、記録：北内直子

タイの日本語教育事情

平塚 さち子

私は大学卒業後タイに渡り、5年間タイでの日本語教育に携わりました。2ヶ所の大学と日本語公開講座の計3ヶ所の現場で教えましたが、今回は、私が最も長く在籍していた大学の日本語学科(主専攻)で、何に重点をおいて日本語教育を行っていたかをご紹介します。

タイでの日本語教育が本格的に始まったのは 1947 年ですが、80 年代に入り、各大学が日本語学科（主専攻）を設けたり、中等教育機関における正式科目になったりと、爆発的な日本語ブームが起こりました。タイで日本語を学ぶ学生たちの主な動機は、2 つに分けられます。1 つは、日本文化への憧れです。とはいえ、日本の伝統文化への憧れというよりは、「ドラえもんが好きだから」「マンガを日本語で読みたい」「いつか好きなアイドルがタイに来た時、通訳をしたい」といった、新しい文化への憧れが非常に強いようです。もう 1 つは、現地日本企業への就職です。タイは東南アジア経済の拠点として、多くの日本企業が進出しています。日本語の能力を認められて、日本企業に就職した場合、初任給は大抵 1 万 5 千バーツ（約 4 万円）～ 2 万 5 千バーツ（約 7 万円）です。一般の大学に進学し、タイの企業に就職した場合の初任給は 8 千バーツ（約 2 万円）ですから、日本語学習者が増加する理由も分かります。親は子供が日本企業に就職することを望み、その給料で自分たちを養ってくれることを望んでいます。そのため、日本語に興味がないのに、親に言われて仕方なく勉強する子供も多いようです。

私の勤務していた学校は、首都バンコクを中心に位置し、日本語学科だけでも学生数は約 300 名、日本語教師数 7 名（うちタイ人教師 3 名）という、日本語教育主専攻を置く大学としては、比較的規模の大きな学校でした。大学自体のレベルはあまり高くありませんでしたが、学生の日本語能力には定評があり、日本企業側からも高い評価をいただいていた。職業訓練校から大学へと改編された学校だったこともあり、特に就職後、現場で役立つ日本語の指導に重点を置いていました。

タイ人は、とてものんびりしていて争いを避ける国民性です。遅刻は当たり前、期日までに課題が仕上がらなくても、すべて「いいよいいよ、大丈夫」で許してしまう、大らかな気質があります。そして、彼らの多くが、日本企業に就職した後、日本人のきっちりした気質についていけなくなり退職してしまうという問題点があります。そこで、私の勤務していた大学では、まず日本的な生活習慣を徹底して教えました。「遅刻、欠席、提出物は厳しくチェック」「あいさつはきちんと」「敬語の使い方や、目上の人に対するマナーの徹底」つまり、一歩大学に入ったら、そこは日本だと思え、とすることです。やっていることは当たりの事のようにですが、これがタイでは、実践することがなかなか難しいのです。他大学の学生たちには、ずいぶん「あの学校は厳しい」と言われていたようです。学生たちは、1 年次にはこの新しい習慣に戸惑いますが、4 年生になる頃にはすっかり慣れ、就職後は、スムーズに職場に入っていくことができるようになります。このような生活習慣の学習は、日常生活はもちろん、授業でも取り上げて教えました。この場面ではこの言い回しのほうがよい、それは何故か...という教え方をどの科目でも採用し、「文型」と「日本人の考え方」がセットになるように配慮していました。正しく読み書きができることももちろん大切です。でも、時々、「正しく日本語を使っているのに、話していて何だか気に障る」という学生がいます。そういう学生は、まず間違いなく、日本人の気質や習慣を理解していません。大学は日本語を学ぶところであると同時に、卒業後に待っている、小さな日本社会への適応力を身につける場でもある、と私たちは考えました。

現在、タイの在留邦人は 3 万人を越え、年間 100 万人の日本人が旅行に訪れると言われ

ています。日本語教育機関数も、学習者数も年々増加の一途を辿っています。その中で勝ち残っていくためには、日本語のみならず、日本人の生活習慣を知っていることが、今後大きなポイントになっていくと思います。

実習を終えて

獨協大学 4年 小山 みよ子

私は今回大学の先輩から「コミュニケーションな授業をしているし、生徒と先生の距離がとても近い良い学校だよ」と勧められ、TIJ で実習をすることにしました。最初は学校でのやり方と異なる部分が多く、戸惑うことも多かったです。でも教案例を見ながら、教案を書いていくうちに、少しずつ慣れていきました。教案を指導していただいた後の授業見学では「先生方がどのように生徒たちの会話を広げているか」に注目しました。

1回目の実習では、緊張のため教案通りに授業をすすめて時間どおりに終わらせることだけで精いっぱい、生徒の会話を広げて一緒に授業を作り上げることができませんでした。バリエーションも少なく、口頭練習も少なく、生徒に文型を完全に定着させることができませんでした。そこで2回目の実習の目標は 生徒と一体となって授業を作り上げること 生徒の発言から話を広げて、自然な会話に発展させること 進行のペースをややゆっくりすることにしました。

2回目の実習では、だいぶ生徒と打ち解けていたこともあって緊張もなく、リラックスして授業を進めることができました。また生徒一人一人の発言に対して、広げる質問をして授業を生徒と一緒に作り上げることができました。ただリラックスしすぎてしまい、教案では気をつけていた言葉のコントロールができませんでした。導入に時間をかけすぎてしまったため、後の練習の時間が少なくなってしまいました。でも生徒と共に授業を作り上げることができたことは、とても大きな喜びです。

TIJ の授業の進め方をやってみて、生徒たちをいかに話したい気持ちにさせるか、そのことの重要性を深く考えさせられました。そのためにきっと場面を重視し、まるで生徒がその場にいる気持ちにさせてから練習させるのだと思います。今までのやり方では、こちらが一方的に文型の入った文を提示して、それをただリピートさせていました。でもそれでは「生徒を話したい気持ちにする」ことはできません。場面設定を徹底し、生徒と共に会話を作り上げていくからこそ生まれるのだと思います。

休み時間には生徒たちから、日本語に関する質問をたくさんされました。上手く説明できず、良い例をあげることができないこともあり、とても勉強になりました。「日本語を話せるようになりたい・もっと上手になりたい」という気持ちがひしひしと伝わってきました。また互いの国のことを話すことで教えられることも多かったです。

最後になりましたが、教案指導をしてくださった阿字地先生をはじめ、多くの先生方に変なお世話になりました。とても楽しく充実した日々を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

事務局からのお知らせ

「上級から学ぶ日本語」の文型勉強会

日時 第5回 10月26日(月) 2:30~4:30
第6回 11月19日(木) 2:30~4:30
第7回 12月18日(金) 2:30~4:30
第8回 1月20日(水) 2:30~4:30
場所 T I J 東京日本語研修所

参加ご希望の方は、前日までにT I Jにメールまたはお電話でお申し込みください。